

1 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 各学年の目標

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
- (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し想像する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
- (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

3 第1学年の評価の観点及びその趣旨

- (1) 美術への関心・意欲・態度
美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付けるために、主体的に学習に取り組もうとしている。
- (2) 発想や構想の能力
感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に豊かに発想し、形や色彩の構成などを工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。
- (3) 創造的な技能
感性や造形感覚などを働かせて、形や色彩などの表し方を身に付け、意図に応じて材料や用具を生かし制作の順序などを考え創意工夫して表している。
- (4) 鑑賞の能力
感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、生活の中の美術の働きなどを感じ取り見方を広げたり、美術文化の特性やよさに気付いたりしている。

4 指導計画・評価計画表

表中の記号・・・【関】：美術への関心・意欲・態度 【発】：発想や構想の能力 【技】：創造的な技能 【鑑】：鑑賞の能力

	指導計画	評価規準	評価方法
1 学 期	<p>◆ 鑑賞 美術って何だろう？ (1時間扱い)</p> <p>○小学校図画工作科との違いを考え、美術とのつながりについて考え、美術のもつさまざまな意義と美術に対する見方・考え方を育てる。</p> <p>● 表現 見て描く楽しみと発見 (2～6時間扱い)</p> <p>○身近な缶に潜む美に気付き、愛着をもって描こうとする姿勢を育てる。見つめることから新たな発見をし、意欲的に描くために用具の基本的な使い方を身に付け、自己の作品を鑑賞し、美術の意義を感じさせる。</p>	<p>【関】：「美術とは何か」を自分なりに考えようとしている。</p> <p>【鑑】：作品から感じ取ったことから、美術の意義について理解している。</p> <p>【関】：デッサンや着彩を通してに表すことを楽しもうとしている。</p> <p>【発】：身近なものを見つめ、感じ取ったことを生かして表現の構想を練っている。</p> <p>【技】：材料や用具の使い方を考え、工夫して表現している。</p> <p>【鑑】：お互いの作品を鑑賞し、意図や工夫した点について、自分</p>	<p>・活動の様子の観察</p> <p>・発言内容</p> <p>・活動の様子の観察</p> <p>・作品</p> <p>・レポートの作成</p>

<p>2 学 期</p> <p>3 学 期</p>	<p>● 表現 色の発見 (4～6時間扱い) ○色の基本的知識や色のもつ感情効果などを着色を通して学習する。また、日本の伝統的な色について意識を高める。</p> <p>◆ 鑑賞 芸術活動の始まり・自然と向き合う日本の美 (1～3時間扱い) ○原始からの芸術活動の始まりについての知識理解を深める。また、風神・雷神などの屏風絵など、日本の伝統的な美術について触れる。</p> <p>● 表現 考えや情報を伝えるデザイン (5～8時間扱い) ○身近な校章や施設のマークなど、考えや願いを形で伝えたり、情報を伝えるデザインを考える。</p> <p>◆ 鑑賞 崇敬と造形、伝統の型(文様,飾り) (2～4時間扱い) ○日本や他国の歴史と風土の中で培われてきた文化の特質について、仮面の造形をテーマに鑑賞し、伝統的な文様や型について鑑賞する。</p> <p>● 表現 木のぬくもりと暮らす (6～10時間扱い) ○日本人に身近な木の家具や生活用品に意識を向け、木の特質を、視覚・触覚などを通して味わい、木に適した加工方法の基本を学びながら、身近な生活の中で使う物を創作する。</p> <p>◆ 鑑賞 信仰から発展した芸術 (1～2時間扱い) ○日本をはじめ、信仰から発展した芸術について鑑賞する。</p> <p>● 表現 信仰から発展した芸術 (7～10時間扱い) ○石を使い信仰から生まれた装飾品などを立体で表現する。対象の特徴や質感をいかした表現方法を探究する。作品を通して新たな発見をする。</p>	<p>の価値意識を深めている。</p> <p>【関】：意欲的に取り組んでいる。 【発】：効果的な色合いやバランスを意識して構想を練っている 【技】：色鉛筆やポスターカラーの使い方を工夫して描いている。 【鑑】：作品を見て、表現の工夫について感じ取っている。</p> <p>【関】：受け継がれた美意識や創造性に関心をもとうとしている。 【鑑】：風神・雷神に込められた人々の思いを感じ取っている。</p> <p>【関】：意欲的に情報や収集し、制作に取り組んでいる。 【発】：マークの形や意味の構想を十分練っている。 【技】：材料や用具の生かし方を考え、工夫して表現している。 【鑑】：作品を鑑賞し、情報のデザインの見方を深めている。</p> <p>【関】：受け継がれた美意識や創造性に関心をもとうとしている。 【鑑】：仮面や文様に込められた人々の思いを感じ取っている。</p> <p>【関】：生活を美しく心豊かにする木の魅力に気付こうとしている。 【発】：用途や機能、使う人の気持ちを考えて構想を練っている。 【技】：木の素材のもつ特質を生かして表現している。 【鑑】：用と美の調和や材料の特徴を生かし工芸のよさを味わう。</p> <p>【関】：信仰から発達した芸術の造形性に目を向けようとしている。 【鑑】：日本と諸外国に共通する美しさや良さを感じ取っている。</p> <p>【関】：意欲的に材料の面白さを感じ取ろうとしている。 【発】：材料の形や色などから発想を広げている。 【技】：材料の特徴を生かして表現している。 【鑑】：発想のおもしろさや工夫した点について、見方を深めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発言内容 ・定期考査 ・活動の様子の観察 ・作品 ・レポートの作成 ・発言内容 ・定期考査 ・活動の様子の観察 ・定期考査 ・レポートの作成 ・発言内容 ・活動の様子の観察 ・レポートの作成 ・発言内容 ・定期考査 ・ ・活動の様子の観察 ・レポートの作成 ・発言内容 ・定期考査 ・活動の様子の観察 ・レポートの作成 ・発言内容 ・定期考査 ・活動の様子の観察 ・レポートの作成 ・発言内容
---	--	--	---

			<ul style="list-style-type: none">・定期考査・活動の様子の観察・レポートの作成・発言内容・定期考査
--	--	--	--